



〒598-0073 泉佐野市南泉ヶ丘1丁目6-19 / TEL・FAX 072-463-4634

メール：higashisano.gcc@gmail.com / ホームページ：https://www.tsukuno.com/higashisano/



## 死は終わりでは ありません

すべての人は、いつか必ず死を迎えます。

たとえ、今は若く健康な人であっても例外ではありません。

では、人は死んだらどうなるのでしょうか。

あなたは、この確かな答えを持っておられるでしょうか。



公式  
LINE

ご質問など随時受付中。



YouTube ふくいん放送チャンネル



多くの末期ガン患者を知る看護師が、かつてこのように言いました。

「死が迫ってくると、人々は2つの思いを抱くようです。1つは『あきらめ』で、自分がまもなく死ぬということを、避けられないこととして受け止めるようです。そして、もう1つは『恐れ』です。死ぬこと自体を恐れるというより、死後の行き先を恐れているように思えます。人は死んだ後、どこか恐ろしいところへ行くのではないのでしょうか。」

## 死後の行き先

ある人は「死んだら消えてなくなる」とか「生まれ変わる」などと言います。そして、そんな言葉を信じる人の中には、「生きることが辛ければ、死んだ方が良い」と考える人すらいます。しかし、死後についての人を信用するのは危険です。誰も、死の壁の向こうを確認できないからです。けれども、人の死後について、確かな答えをくださる方がおられます。それは、この世界のすべてを造られた真の神様です。神の言葉である聖書には、このように書いてあります。

「土のちり(人の肉体)は元あったように地に帰り、  
霊(その人自身)はこれを与えた神に帰る。」※1

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを  
受けることが定まっている」※2



人は死後に、神様の前で罪のさばきを受けるのです。神様に造られた人間は、心のどこかでこのさばきに気がついていて、それで、すべての人が死を恐れているのです。

## 罪と罰

罪のさばきは、すべての人の問題です。殺人、誘拐だけでなく、ののしり、ねたみ、嘘も罪だからです。また多くの人は、人間にいのちを与えて日々生かしてくださっている神様を認めず、感謝もせず、自分勝手に生きています。このような生き方は、神様の前で大きな罪です。

ですから、すべての人は自分の行なった罪をさばかれ、死後に、火の燃える地獄で罰を受けなければならないのです。私たちが今味わう苦しみには、必ず終わりが来ます。しかし地獄の苦しみに終わりはありません。



## 天国への道

神様は決して、あなたが地獄に入ることを望んでおられません。罪を見逃すことはできない方ですが、私たち人間を愛しておられるからです。そこで神様は、私たちを救うために、ひとり子イエス・キリストを遣わされました。

イエス様は、今から約2000年前に十字架にかかり、すべての人の身代わりに罪の罰を受けてくださいました。当時、死刑の道具として恐れられた十字架が、今では病院などで「救い」を表すシンボルとなったのは、イエス様が私たちを永遠の地獄から救うために、十字架で死なれたからです。そしてイエス様は、死後3日目によみがえられ、今も天で生きておられます。誰でも、神様の前で自分の罪を認め、イエス・キリストを「私の神、私の救い主」と信じるなら救われます。



「この方(イエス・キリスト)を信じる者はだれでも、  
その名によって罪の赦しが受けられる」※3

「わたし(イエス・キリスト)が道であり、真理であり、  
いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも  
父のみもと(天国)に行くことはできません。」※4

イエス様を信じたクリスチャンは、死を前にしても平安を持つことができます。そして、天への希望と救いの喜びをもって生きることができます。あなたもイエス様を信じて、この大切な救いを得てください。

※1 伝道者の書12章7節 / ※2 ヘブル人への手紙9章27節  
※3 使徒の働き10章43節 / ※4 ヨハネの福音書14章6節

郵便はがき